



ラカム

International School Japanese Section in Riyadh

リヤド日本人学校

学校便り 12月号

2012年(平成24年)12月1日

本校在籍児童生徒数(12月1日現在) 小学部10名、中学部0名 計10名

12月の生活目標: 思いやりの心っていい気持ち

在外教育施設におけるグローバル人材の育成

日本人学校校長研究協議会



南西アジア・中東・アフリカ地区の17の日本人学校の校長が一堂に会し、各校の現状や課題解決に向けての取り組みについて情報交換を行い、日本人学校の教育水準の維持向上と円滑な学校運営について熱心な議論が行われました。協議会の冒頭、文部科学省から『今、世上ではグローバル化の議論が活発に行われています。日本がこのグローバル化された世界の中で生き残っていくためにグローバルな舞台に積極的に活躍できる人材の育成が急務となっています。そのグローバル人材の育成とい

う観点から在外子女教育に改めて関心が寄せられています。貴重な青少年期の一時期を海外で学び、生活した子どもたちこそ、日本の期待するグローバル人材の金の卵たり得るのではないかと、期待されています。』とのお話があり、日本人学校での教育の大切さを再認識いたしました。本校からは、少人数指導の工夫と成果、「水」をテーマとした総合的な学習、全校宿泊体験学習、交流学习、現地理解学習、図工でのイマージョン教育、学校教育支援ボランティア活用事業、ダハラン補習授業校支援について報告させていただきました。特に、ボランティア活用については数校から資料提供を依頼されるほど関心が高いものでした。

生きる力の育成

この協議会を通して確認されたことは、知(確かな学力)徳(豊かな心)体(健やかな体)をバランスよく育成すること、すなわち『生きる力』の育成が重要だということです。

確かな学力とは、基礎基本を確実に身に付け、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力のことです。詰め込み教育で代弁されるように知識量の多さを求めるのではなく、新たな課題に直面した時、習得した知識や技能を駆使して解決しようとする力を養うことが大切なのです。

豊かな心とは、自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心のことです。本校では、道徳教育や読書指導、生活指導等学校教育全体を通して行われています。

健やかな体とは、たくましく生きるための健康や体力のことです。リヤドタイムでの体づくり、中休み・昼休みでの全校遊びを通して運動する機会を増やしています。

本校での学校教育全てがこの『生きる力』の育成を目的に計画されていますが、まだまだ不十分な点も多く改善の余地があることを認識できたことが今回の協議会の大きな成果でした。この成果をもとに本年度の教育内容を精査し、来年度に向けた教育計画に生かしていきたいと思っています。



ナイロビ日本人学校
全校児童生徒43人の歓迎演奏

運動会特集

感動をふたたび

11月16日 キングファイサルスクールにて



準優勝 エンドーズ



優勝 ナスピーズ



12月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	土	全校集会	17	月	個別面談
2	日		18	火	
3	月	第4回運動会準備委員会	19	水	2学期終業式
4	火		20	木	冬季休業日
5	水		21	金	
6	木	授業参観・リヤド祭・PTA 餅つき	22	土	
7	金		23	日	
8	土	振替休業	24	月	
9	日		25	火	
10	月		26	水	
11	火		27	木	
12	水		28	金	
13	木		29	土	
14	金		30	日	
15	土	全校集会	31	月	↓
16	日		1月の主な行事 5日 3学期始業式、16日 持久走記録会 24日 日本人会新年会		